

平成 20 年度麻布大学同窓会横浜市支部総会報告

梅雨明けを告げるかのような雷雨があつという間にあがった7月18日、第27回同窓会横浜市支部総会が、横浜駅に近いホテルキャメロットジャパン、桃花苑において行われました。

来賓として本部会長である紫野正雄先生にお越しいただき、参加会員は昭和15年卒の支部相談役西ヶ谷先生から、平成13年卒最年少の葉山先生まで38名、麻布の伝統を改めて認識できるような幅広い年齢構成となりました。

総会に先立ち、6月にご逝去された、同窓会員であり長らく横浜市獣医師会事務局長を務められた高橋秀夫先生を追悼し、全員で黙祷をささげました。

総会は40年卒小池会長の挨拶で始まり、同窓会理事である49年卒有賀先生による学園の新しい設備やシステムについてなどを含んだ学園報告、さらに同窓会本部会長の紫野先生から同窓会の現状、学園祭についてなどのお話を伺いました。

お三方の話で、大学への帰属意識の重要性、学園祭や学会等での同窓同士の絆の強化、さらに将来に備えた学園PRの重要性などということを改めて認識させられました。

その後議事は滞りなく進行し、最長老、されどすこぶるお元気な西ヶ谷先生の気合いの入った音頭による乾杯の後、和やかな宴席となりました。



宴席では老壮青？和気藹々かつ、麻布らしく先輩をたてながら様々な話に花が咲き、最後に37年卒保田先生の恒例一本締めでお開きとなり、学生時代と同様にまだ飲み足りない面々は各々夜の横浜の町へ繰り出して行ったのであります。

(昭和54年卒 鈴木哲也 記)